

防災イラストリストと指導ポイント(案)

No	設定	テーマ	目標	指導ポイント(案)	表現例	地震防災ガイドブック「やさしい日本語」版使用ページ
1	A	TVニュース	TVの速報を見て、内容が理解できる	速報ニュースにでる漢字は見ればわかるように指導してください。絵を見て、緊急地震速報のテレビ画面や音声(アラーム)に注意しなければならないことを伝えてください。	地震が発生しました/震源地は〇〇です/震度〇です	P1語彙、P2震度
2	B	逃げろ(津波)	危険が伝えられ、内容を理解することができる。また、他者に危険を伝え、避難することができる	逃げろシリーズ第1弾。なぜ避難をしなければならないのかを理解できるようにしてください。また学習者も他者や周りの人に積極的に声掛けができるように指導してください。津波のときには、車で避難しないようにすることを知らせてください。	逃げてください/逃げろ/津波が来るぞ	P4.5行動確認
3	B	逃げろ(土砂崩れ)	危険が伝えられ、内容を理解することができる。また、他者に危険を伝え、避難することができる	逃げろシリーズ第1弾。なぜ避難をしなければならないのかを理解できるようにしてください。また学習者も他者や周りの人に積極的に声掛けができるように声掛け指導もしてください。	逃げてください/逃げろ/裏山が崩れる/木が倒れる	P4.5行動確認
4	B	逃げろ(火事)	危険が伝えられ、内容を理解することができる。また、他者に危険を伝え、避難することができる	逃げろシリーズ第1弾。なぜ避難をしなければならないのかを理解できるようにしてください。また学習者も他者や周りの人に積極的に声掛けができるように声掛け指導もしてください。	逃げてください/逃げろ/火事だ	P4.5行動確認
5-1/5-2	B	こっち、こっち!/走れ	非常時に避難を促されていることが理解でき、避難行動をすることができる。緊急時に避難を促すことができ、迅速に避難ができる。	逃げろシリーズ第4弾。避難時は2人以上で避難することがポイントです。率先避難者として大声を出しながら周りに避難を促す表現を引き出してください。	走ってください/こっち、こっち	P4.5行動確認、P6避難地の確認
6-1/6-2	C	どこに逃げたらいいですか①②	避難所を尋ねることができ、どこに避難したらよいか情報を入手することができる	場所を表す言葉、方向、経路の説明を聞き取れるようにしてください。見知らぬ土地に出かけた際は、避難所がどこにあるかわかりませんので、地元の人たちからの情報が頼りになります。人を呼び止めることはなかなか難しいですが、周りの人に助けを求められるように練習が必要です。	どこに逃げたらいいですか/どこに逃げますか/避難所はどこですか/避難所を教えてください/ちょっと	P6避難地の確認
7	C	大丈夫ですか	相手に声掛けをし避難することができる	相手を思いやり不安を軽減できるような表現を引き出して、互いに安心感を得られるようにしてください。痛い・悪い・寒いなど感覚や状態を表す語彙を習得できるようにしましょう。	大丈夫ですか/どうしましたか/何かありましたか/どこか痛いですか	
8	C	どうしたの?	相手の状態について、その理由を尋ねることができる	子どもやお年寄りなど、弱者に対して共感や心配している気持ちを表現できるようにしてください。	大丈夫ですか/どうしましたか(どうしたの)/泣かないでください	
9	C	誰かいますか?	存在の有無を確認し、救出救助時の声掛けができる	被災時、外国人も地域力になります。そのため、日本人と互助活動ができるように表現を提示し指導してください。	誰かいますか/お~/大丈夫ですか/大丈夫/助けに来ました	
10	C	寒くないですか	相手の状態を察し、声をかけることができる	状態の確認ができる表現を習得できるようにしてください。たとえば、形容詞のない形での表現がよく使われますので、ない形での声掛けに対して答えられるようにすることもいいでしょう。	どうしましたか/寒くないですか/大丈夫ですか/どこか悪いんですか	
11	A	JRIは全線不通です	交通状況を理解することができる	交通事情を理解できるように、掲示板等の語彙や漢字を見たら意味がわかるようにしてください。	JRIは全線不通です/電車が止まりました/電車が動きません	
12	C	(受付で)名前と住所	受付で自分のことを説明することができる	自分の住所、名前が言えるようにしてください。また、避難所では地区班に分かれることがあるので、自治会内の地区名がわかるように指導しておきます。	私の名前は〇〇です・住所は〇〇です/お名前・ご住所/どこから来ましたか/自治会はどこですか/何班(地区)ですか/お名前とご住所を教えてください	
13	C	家族構成、家族の状態説明	受付で自分の家族とその状態について説明することができる	単文で人数を表すことができ、家族構成を伝えることができるようにしてください。家族写真を常に持ち歩くことを指導しておいてください	何人家族ですか/家族は何人ですか/私の家族は〇人です/妻は妊娠しています/ペットがいます/どこに避難していたらいいですか	
14	C	家族が行方不明です	受付で自分の家族が行方不明であることを説明することができる	行方不明、連絡が取れないなど、不安な状態を表す語彙や表現を使って、緊迫した状況を説明できるように指導してください	家族が行方不明です/お父さんがいません/お父さんがいないんです/お父さんと連絡が取れません/誰か、父を見ませんでしたか/どうしたらいいですか	
15	C	子どもが風邪をひいています	子ども(家族)の状態を説明することができる	病気の表現ができるようにしてください。ただし避難所では薬の備蓄があるとは限らないため、あらかじめ常備薬を備蓄しておくことも啓発してください	風邪をひいています/熱があります/病気です/薬をください/薬はありますか/薬をもらえますか	
16	C	仲間がケガをしています	助けを求め、治療ができる場所を確認することができる	他人に助けを求めることができるかがポイントです。ただし被災時はケガをしてもすぐに治療・手当してもらえない可能性があることをあらかじめ周知してください	ケガをしました/ケガがひどいです/出血しています/骨折しています/~かもしれません/~の疑いがあります	

17	B	食事を配っています	食事の配給を行っていることを周りに伝えることができる	食事の配給では、数に限りがありますので譲り合ってもらうことを理解させてください。家族分をもらうことも、周りの人の分を代わりに受け取り運ぶこともできます。アレルギーの確認カードと一緒に練習すると効果的な活動ができます。	食事/ご飯を配ります/配っています/一人〇個、もらってください/もらえます/もらいに来てください	
18	B	毛布・水 はどこでもらえますか	物資がどこでいつもらえるのかを確認することができる	いつ、どこで何が配給されるのか、情報収集をすることができるように指導してください。物資は様々な例をあげて代入練習をすることができます。	毛布・水はありますか/毛布はどこですか/毛布はどこでもらえますか/いつもらえますか	P5備蓄品
19	B	サイズはS・M・Lです	自分が必要な物資について説明し、配給を受けることができる	自分の状況を叙述し、必要な物資の配給をきちんと受けられるよう、情報の発信と受信ができるよう指導してください。日本の洋服や靴のサイズの言い方がわかるようにしてください。	サイズは〇です/大きい・小さい/大きい(小さい)のがありますか/替えてください/替えてもらえますか	P5備蓄品
20	A/B	配給は～曜日です	配給の日時を確認することができる	いろいろな物資を事例に、代入練習をしてください。曜日や時間を理解し、的確に情報を入手できるように指導してください。	〇〇の配給/曜日/時間/配給はどこでありますか/配給は何時からですか/いつもらえますか	P5備蓄品
21	C	ミルクとおむつはありますか	自分が必要としているものがあるかどうかを尋ね、確認することができる	避難所にミルクとおむつが備蓄されているとは限りません。あらかじめミルクとおむつを常備しておくことを指導してください。おむつは乳児用だけでなく大人用も必要になることを意識しておいてください	ミルクはありますか/哺乳瓶はありますか/おむつは(サイズ)ですか/(サイズ)のおむつはありますか	P5備蓄品
22	C	トイレが使いません	「使用禁止」の表示を理解し、対処法を尋ねることができる	トイレが使えない表示を理解し、その場合どのようにしたらよいのか尋ねたり、トイレが使用できない状況を説明することができるように指導してください。避難所で最も多いトラブルがトイレのトラブルです。簡易トイレを用意しておくことが役立ちます。	トイレはどこですか/トイレが使いません/汚物があふれています/使用禁止です/どこでトイレができますか	
23	B	どうやって電話をすることができますか	電話の場所を確認し、伝言ダイヤルをかける(受ける)ことができる	どこで電話をかけられるのかを確認できるように指導してください。伝言ダイヤルの使い方の指導をしてください。事前に身近に公衆電話がある場所を確認しておくこと緊急時の電話利用に役立ちます	電話はどこにありますか/電話がつながりません/どこで電話ができますか	
24	B	お風呂はいつ入れますか	入浴時間と場所について確認することができる	避難所のお風呂に入ることのできる日時やお風呂の場所を確認することができるようにします。災害後すぐにお風呂が設置されるわけではなく、シャワーがあるとは限りません。東日本大震災時に外国人がお風呂の入りがわからないといったトラブルがあったので、桶やタオルを湯船のなかで使わないなど、公衆浴場のルールとマナーを伝えておきましょう。	お風呂はどこですか/お風呂は入れますか/男風呂・女風呂/お風呂はいつ入れますか/お風呂に入りたいんですが…	
25	C	洗濯はどこで干す・洗うことができますか	洗濯物を洗う場所と干す場所を尋ね、行動することができます	避難所のルールを確認できるように指導してください。避難所では、自衛隊が設置する洗濯機を利用する場合があります。	洗濯はどこでできますか/洗濯をしてもいいですか/どこで洗えます(干せます)か/目立たないところに干したいんですが…	
26-1 /26-2	B/C	お手伝いすることはありますか①②	自発的に避難所運営の協力ができるようになる	積極的に地域の人たちと交わることができるように、お手伝いできれば率先して協力するように指導してください。また、お手伝いしてもらった際の感謝の言葉や依頼する際の表現も教えてください。避難所では子どもたちが重要な力になります。	何かお手伝いしましょうか/お手伝いできます/お手伝いすることはありますか/お手伝いさせていただきます/ありがとう/助かります/これをお願いします	
27-1 /27-2	B/C	今から配ります/並んでください	避難所内で相手に指示をすることができる	避難所運営をする側の表現ができるように指導してください。集団生活でのルールです。割り込みをせず、列を作ることを理解させ、指示されてもわかるようにしてください。	配給をしますので、並んでください/一列に並んでください/並んでもらえますか	P5備蓄品
28	C	もう少し静かにしてください	避難所内で相手に注意することができる	集団生活ではトラブルも予測されます。お互いに様々な事情を抱えていますので、マナーを守って生活ができるように配慮することを指導してください	すみません、もう少し静かにしてください/静かにしてもらえませんか/静かにしてくれませんか	
29-1 /29-2	B/C	段ボール越しの挨拶①②	避難所で段ボール越しに近所の人と挨拶や会話ができる	避難所では、いろんな人たちがいます。初めて会う人とも良好な付き合いができるよう、自発的な挨拶ができるよう指導してください。段ボール越しに、プライバシーを守りながら共同生活をしますので、ストレスになりますが、僅かでも軽減できるような声を掛け合えるようにしておきます。NO.8、10と組み合わせると練習することも効果的です	おはようございます/こんにちわ/こんばんは/今日は寒い(暑い)ですね/体調はどうですか/大丈夫ですか	
30	C	アレルギーがあります	アレルギーの有無について伝えることができる	アレルギーの種類を言えるように指導してください。	私は〇〇アレルギーがあります/アレルギーがあるので、〇〇を食べることができません	

31	C	ベジタリアンです	自分の事情を説明することができる	食事配給にベジタリアンの配慮があるとは言い難いことを周知し、自分の事情を伝えることができるように指導してください。	私はベジタリアンです/私は野菜しか食べられません/ベジタリアンなので、お肉が食べられません
32	C	イスラム教のため、豚肉が食べられません	宗教上の理由を伝えることができる	理由を述べることができるよう指導してください。お祈りの場所など、避難所では宗教上の配慮が十分にできるとは限らないので、あらかじめ教会の場所や対応などを確認しておくことをすすめてください。	私はイスラム教徒です/イスラム教徒なので、豚肉が食べられません/お祈りの場所がありますか/お祈りはどこでできますか

A)公共場面に遭遇し、学習者はその絵の中にいないもの

B)登場人物は1名で、学習者にその人物としての発話を求める

C)登場人物は複数で、学習者にその人物としての発話を求めたり、一方の他者の発話を受けるのが学習者という設定のもの